



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
 コード番号 7030 URL https://sprix.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常石 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 筒井 努 TEL 03(6912)7058
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 2020年6月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,885	—	962	—	962	—	698	—
2019年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 697百万円 (—%) 2019年9月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	40.74	39.19
2019年9月期第2四半期	—	—

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率、2019年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	11,509	7,905	68.4
2019年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 7,868百万円 2019年9月期 一百万円

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2020年9月期	—	15.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,063	—	1,099	—	1,098	—	791	—	46.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 2020年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	17,308,650株	2019年9月期	17,131,050株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	170,195株	2019年9月期	195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	17,149,596株	2019年9月期2Q	17,130,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、子会社として株式会社プログラミング総合研究所を新たに設立したことに伴い、2020年9月期第2四半期より、連結決算へ移行しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間に、プログラミング検定の運営などを行う株式会社プログラミング総合研究所を設立し連結決算に移行しているため、前年同四半期連結累計期間および前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、当初は企業収益及び雇用・所得環境の改善から緩やかな回復基調が続いていたものの、新型コロナウイルスの急激な拡大による影響が懸念され、非常に不透明な状況となりました。

当社グループの属する教育サービス業界におきましては、少子化による学齢人口の減少が続くなかで、教育制度の再構築が徐々に進められており、対応策を講じることが必要になってきております。また、社会生活全般のIT化が進むなかで、新型コロナウイルスの影響により、小学校、中学校、高等学校等での休校措置が進められており、IT技術活用による新たな教育・指導形態の必要性が尚一層高まっております。

当社は、このような状況のもと、中核事業であります「森塾」（個別指導塾）においては、当第2四半期連結会計期間末で直営109教室（前期末比12教室増）展開し、新年度に向けた生徒獲得のため、WEBプロモーション、テレビコマーシャルを中心とした広告宣伝活動を積極的に行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における直営在籍生徒数は25,054人（前年同期比1,395人増）となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、3月に実施した休校に伴い授業を4月以降に振り替えたため、一部売上が第3四半期連結会計期間での計上となっております。また、「自立学習RED」（教育ITを利用した学習塾）のフランチャイズ展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末においてFC教室数110教室（前期末比35教室増）となりました。一方、組織力強化のための人員増及び新校舎の設備関連費用増加などを当初の想定通り進めたことにより、売上原価、販売費及び一般管理費が増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は売上高5,885,088千円、営業利益962,853千円、経常利益962,013千円、親会社株主に帰属する四半期純利益698,624千円となりました。

当社の業績は、「森塾」を中核事業とする学習塾サービスにおいて、夏期（7月・8月）、冬期（12月・1月）、春期（3月・4月）の講習実施時期に、他の月と比較して売上高が増加する傾向にあります。また、教育関連サービスのテキスト販売においては、新学期開始前の3月前後に売上高が集中する傾向にあります。

当社グループは、教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は9,299,179千円となりました。主な内訳は、現金及び預金7,157,510千円および未収入金1,289,945千円となっております。

また、固定資産の残高は2,210,180千円となりました。主な内訳は、有形固定資産1,179,666千円、無形固定資産108,268千円および投資その他の資産922,245千円となっております。

以上の結果、総資産は11,509,359千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,112,320千円となりました。主な内訳は、前受金1,234,153千円および未払金861,523千円となっております。

また、固定負債の残高は491,984千円となりました。主な内訳は、資産除去債務330,336千円となっております。

以上の結果、負債合計は3,604,305千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,905,054千円となりました。主な内訳は、利益剰余金5,248,198千円となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、7,157,510千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、907,233千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,051,504千円、法人税等の支払額542,453千円および未払金の増加122,107千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、228,223千円となりました。
これは主に、有形固定資産の取得による支出237,278千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、431,746千円となりました。
これは主に、配当金の支払額272,118千円および自己株式の取得による支出215,967千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年9月期第2四半期より、連結決算へ移行しております。連結決算開始の理由、2020年9月期の連結通期業績予想につきましては、2020年5月13日発表の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,157,510
売掛金	387,370
商品及び製品	278,694
仕掛品	2,986
未収入金	1,289,945
その他	205,010
貸倒引当金	△22,338
流動資産合計	9,299,179
固定資産	
有形固定資産	1,179,666
無形固定資産	108,268
投資その他の資産	
その他	922,426
貸倒引当金	△180
投資その他の資産合計	922,245
固定資産合計	2,210,180
資産合計	11,509,359
負債の部	
流動負債	
買掛金	48,150
未払金	861,523
未払法人税等	477,034
前受金	1,234,153
成績保証引当金	5,840
返品調整引当金	10,713
その他	474,905
流動負債合計	3,112,320
固定負債	
役員退職慰労引当金	67,688
退職給付に係る負債	93,959
資産除去債務	330,336
固定負債合計	491,984
負債合計	3,604,305
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,422,742
資本剰余金	1,412,742
利益剰余金	5,248,198
自己株式	△214,834
株主資本合計	7,868,849
その他の包括利益累計額	
退職給付に係る調整累計額	△1,354
その他の包括利益累計額合計	△1,354
非支配株主持分	37,558
純資産合計	7,905,054
負債純資産合計	11,509,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,885,088
売上原価	3,563,690
売上総利益	2,321,397
販売費及び一般管理費	1,358,544
営業利益	962,853
営業外収益	
受取利息	50
受取保険金	597
助成金収入	450
その他	1,030
営業外収益合計	2,128
営業外費用	
支払手数料	2,779
その他	189
営業外費用合計	2,969
経常利益	962,013
特別利益	
資産除去債務戻入益	19,428
受取補償金	71,105
特別利益合計	90,533
特別損失	
抱合せ株式消滅差損	1,041
特別損失合計	1,041
税金等調整前四半期純利益	1,051,504
法人税、住民税及び事業税	424,319
法人税等調整額	△68,998
法人税等合計	355,321
四半期純利益	696,183
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,441
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,624

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	696,183
その他の包括利益	
退職給付に係る調整額	1,354
その他の包括利益合計	1,354
四半期包括利益	697,537
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	699,978
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,441

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 2019年10月1日
 至 2020年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,051,504
減価償却費	73,449
のれん償却額	9,475
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	1,041
資産除去債務戻入益	△19,428
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,905
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,950
成績保証引当金の増減額(△は減少)	△1,224
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△5,459
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,490
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	688
受取利息	△50
売上債権の増減額(△は増加)	48,689
たな卸資産の増減額(△は増加)	△50,635
その他の資産の増減額(△は増加)	△58,565
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,266
未払金の増減額(△は減少)	122,107
前受金の増減額(△は減少)	51,788
その他の負債の増減額(△は減少)	188,048
その他	20,989
小計	1,429,599
利息の受取額	50
法人税等の支払額	△542,453
法人税等の還付額	20,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	907,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△237,278
敷金及び保証金の差入による支出	△10,264
敷金及び保証金の回収による収入	37,760
資産除去債務の履行による支出	△16,240
その他	△2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	16,339
自己株式の取得による支出	△215,967
配当金の支払額	△272,118
非支配株主からの払込みによる収入	40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△431,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247,263
現金及び現金同等物の期首残高	6,819,546
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	90,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,157,510

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、教育サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。